

会 議 録

- 議事内容 2023年度 5月定例教育委員会
- 日 時 令和5年5月11日(木) 13:30~16:00
- 場 所 4階会議室4-1
- 出席者 教 育 長 橋本 浩明
教 育 委 員 河嶋栄里子・藤本真理・養父雄一・石原友紀
学 術 政 策 員 陰山 茂
事 務 局 入江教育管理部長・藤井指導部長
松田教育総務課長・市橋いきいき社会創造課長
管野スポーツ振興主幹・教育総務課 澤谷

■ [会議の内容]

1 開会あいさつ

- ・教 育 長

2 前回議事録確認

- ・全委員一致で承認

3 議案

- ・議案第4号 小野市教育委員会個人情報保護に関する法律施行細則の制定について(教育総務課)

個人情報保護法が改正され、地方公共団体も当該法が適用されることに伴い、小野市教育委員会個人情報保護条例施行規則を廃止し、市が定める規則等の例に拠ることを定めた細則を、別紙のように定めたので報告し承認を求める。

- ・議案第5号 学校給食センター運営委員会委員及び監事の委嘱について(教育総務課)

任期満了に伴い、新たに学校給食センター運営委員及び監事を委嘱する必要があるため、別紙のとおり承認を求める。

- ・議案第6号 小野市学校評議員の委嘱について(学校教育課)

小野市立小学校、中学校及び特別支援学校の管理運営に関する規則第8条により、学校評議員を新たに委嘱するため、別紙のとおり承認を求める。

- ・議案第7号 小野市教育支援委員会委員の委嘱について(学校教育課)

任期満了に伴い、新たに小野市教育支援委員を委嘱する必要があるため、別紙のとおり承認を求める。

・議案第8号 小野市立図書館協議会委員の委嘱について（いきいき社会創造課）

小野市立図書館協議会委員について、小野市立図書館の設置及び管理に関する条例第5条の規定に基づき、後任の委員を委嘱する必要があるため、別紙のとおり承認を求める。

・議案第9号 小野市立市民研修センター管理運営に関する規則の規定による教育委員会の指定する団体の一部改正について（いきいき社会創造課）

小野市立市民研修センター管理運営に関する規則の規定による教育委員会の指定する団体について、団体の名称変更に対応した内容にするため、一部を改正する告示を別紙のように定める。

■ **【教育委員からの照会及び意見】**

Q: 学校給食センターの運営委員会について、年に2回開催しているということだが、委員の方の出席率はどれくらいなのか。(教育委員)

A: 出席率については、健康福祉事務所長がここ数年はコロナの関係もあるのか、なかなか日程があわずお越しになれていないが、その他の方々はおおむね来られている。運営委員会には連合PTAの方も入っているので、子どもの状況を踏まえながら、給食の感想や改善点といった、給食内容についての協議がメインとなっている。(事務局)

Q: 連合PTAの方は、同じ学校の方が担当するのではなく、毎年変わるように、順番に回っているということで間違いはないか。(教育委員)

A: 連合PTAの中で話し合い決められていると思う。去年は別の学校の方が委員に選出されていたので、交代で回されていると考える。(事務局)

Q: 給食センターの会計監事について、こういった内容を見ているのか。(教育委員)

A: 市の財政課と会計課が事前監査を行っているので、その内容で問題ないか説明するという形になる。給食センターには、一般会計と給食センター会計の二つがあり、一般会計で人件費や、水道代、電気代、機械の保守委託料や消耗品をみており、保護者の方々から集める給食費は給食センターの会計で、食材費とガス代をみている。給食センターが新しくなった時に、副食を2品から3品に増やし、更にアレルギー対応食を始めたことから、1食あたり20円の値上げをせざるを得なかったが、これ以上の負担は保護者の方々に求めないということで、元々は給食センター会計で負担していた水道代と電気代を、一般会計で負担してもらうことになった。そのため、会計監事の方は食材費関係とガス代等を中心に見ていただいている。(事務局)

Q: 給食費の滞納についてはどこが担当しているのか。(教育委員)

A:滞納については、元々は学校が徴収していたが、働き方改革によって令和2年度から給食センターで行うことになった。その時に、滞納する人が増えてしまったが、様々な改革を行うことで、かなり減らすことができた。現在は、市で目標を立てて管理しており、去年と今年については滞納を減らすことができている。運営委員会でも滞納額について、どれくらい残っているかといった説明をしている。(事務局)

A:給食については、現在様々な動きがあるので、ご興味を持っていただき、考えていただきたいことが多くある。給食の無償化の問題や、物価高騰にどう対応していくかという問題がある。色々な考え方があるので、慎重に議論していく必要がある。(教育長)

Q:議案第9号について、教育委員会の指定する団体とあるが、この団体は全て教育委員会が関係しているということか。(教育委員)

A:所管としては、教育委員会ではなく他部署になる。この中では、小野市スポーツ協会のみが教育委員会の所管である。これらの教育委員会の指定する団体については、公共性が高いため様々な融通を図るというものである。(事務局)

(議案第4号から第9号において、全議案の承認を得る。)

4 報告事項

- ・令和5年度主要事業の進捗状況の説明及び教育委員からの意見聴取

■【学校教育課関連】

①第Ⅲ期教育振興計画の具現化【教育課程管理】

(進捗状況)

- ・脳科学と教育の原点回帰ということで、20代から30代の若手の先生が増えており、夢と希望の教育が始まった頃の先生方がかなり減ってきたということから、もう一度脳科学理論を大事にしていくために、様々な会議や打ち合わせ等を進めていく。

(今後の予定)

- ・校長会、学力向上推進委員会、夢と希望の教育推進委員会を開催し、脳科学と教育について、再度共通理解を図る。

②「チーム学校」を踏まえた学校組織マネジメントの強化とリスクマネジメント【危機管理】

(進捗状況)

- ・『報・連・相』及び『4号報告(いじめ・問題行動等)』で報告

- ・就学援助事務（申請書等の確認）
- ・修学旅行の新型コロナウイルス感染症対策（キャンセル料・看護師等随行）
5月後半に行われる中学校の修学旅行について、コロナは2類から5類に移行したが、学校全体でキャンセルをしなければならないような状況のときには、キャンセル料は市で対応する。ただし、個人のキャンセルについては、個人対応ということになっている。看護師等の随行については、昨年度と同様に許可をもらっている。

③人材育成と働き方改革【人的管理】

（進捗管理）

- ・5月26日に臨時講師研修会、6月5日に市初任者研修会を行い、若手の先生の研修を進めていく。

④学校教育課情報

1 市の取組予定

- 4月25日 不登校対策会議
○令和4年度の不登校にかかる現状について
○不登校にかかる新ほほえみアクションプランと数値管理
○令和5年度の不登校対策について
- 5月12日 校長会
- 5月16日 千葉県袖ヶ浦市議会 行政視察受け入れ
- 5月17日 富山県小矢部市議会 行政視察受け入れ
- 5月26日 臨時講師研修会①
- 5月30日 川島隆太教授研究室 指導助言
- 5月30日 夢と希望の教育推進委員会
- 6月5日 市初任者研修会①
- 6月6日 人権教育推進委員会
- 6月8日 学力向上推進委員会
- ◆5月中～下旬 学校長面談（年度当初の方針管理）

2 学校の取組

○授業参観

→保護者の人数制限等はなし、マスク着脱については個人判断

- ・4月15日（土）：小野中・旭丘中・小野南中
- ・4月21日（金）：小野特
- ・4月22日（土）：河合小中
- ・4月29日（土）：小野・小野東・来住・市場・大部・中番・

下東条小学校

○運動会

→半日開催

- ・ 5月13日(土) : 小野特
- ・ 5月20日(土) : 小学校、河合小中

○中学校修学旅行

- ・ 5月22日(月)～5月24日(水) : 旭丘中 長崎方面
- ・ 5月23日(火)～5月25日(木) : 小野南中 沖縄方面
- ・ 5月29日(月)～5月31日(水) : 小野中 長崎方面
- ・ 9月 5日(火)～9月 7日(木) : 河合中 東京方面

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q: 学校長には、例えば国際交流協会に、そして先程の議案にあった図書館協議会や給食センター運営委員会等、様々な分野で担当校長として委員に就任等していただいていると思うが、それも必要な配置ということではされているのか。(教育委員)

A: 各教科を進めていくうえで必要なもので、教科ごとに担当校長がいる。それから、先程言われた国際交流協会等の外部団体と連携をとっていくことが、これからの開かれた教育において重要なので、そこに担当校長がいるということは非常に重要な部分である。業務改善の動きとはまた別で必要な配置なので、校長先生には担当校長が必要ということで依頼している。どの校長先生がどの分野を担当するかといったことは、校長会の中で決められている。(事務局)

■【教育総務課関連】

①新幼稚園整備事業

(進捗状況)

- ・ 実施設計を行っており、現在の進捗率は50%。
- ・ 4月25日に打合せを行い、部屋の配置、レイアウト、家具や備品の配置等について協議した。

(今後の予定)

- ・ 外構、遊具、駐車場等の設計を行う。
- ・ 基本設計の公表として、6月広報でパースを掲載し、広く市民の方に見ていただく予定。

(課題)

- ・ 新幼稚園の運営準備として、園名の周知や預かり保育、仮設園の駐車場の確保等が課題となっている。

②学校施設長寿命化対策事業（旭丘中学校）

（進捗状況）

- ・旭丘中学校の校舎について、仮設校舎の建設の進捗率は30%。

（今後の予定）

- ・5月15日に仮設校舎の建設に着手し、竣工は8月中旬になる予定。その後引っ越しを行い、2学期からは仮設校舎で学校生活が始まる。
- ・6月7日に校舎建設工事の入札を予定している。

（課題）

- ・計画的に長寿命化改修工事を行うための財源の確保。

③学校施設バリアフリー化整備事業

（今後の予定）

- ・小野小学校のエレベーター設置について、設計業務を行っていく。
- ・6月に小野小学校エレベーター設置工事設計業務委託の入札を予定している。

④教育総務課情報

1 学校プール使用不可校の令和5年度水泳授業について

○小野南中学校プール漏水により、水泳授業をアルゴのプールで実施する。

○小野南中学校のアルゴプール利用予定

| 日程 | 時間帯 | クラス（生徒数） |
|----------|--|-------------------|
| 6/12（月） | ① 9:00~10:00 ②11:00~12:00 ③13:45~14:45 | ① 9-1（29）、9-2（29） |
| 6/19（月） | | ② 9-3（29）、8-1（38） |
| 7/3（月） | | ③ 8-2（38）、8-3（39） |
| 7/10（月） | | |
| 10/30（月） | ① 9:00~10:00 ②11:00~12:00 | ① 7-1（33）、7-2（33） |
| 11/6（月） | | ② 7-3（33） |
| 11/14（月） | | |
| 11/21（月） | | |

※学校とアルゴ間の移動は、市マイクロバス及び業務委託バスを利用する。

○昨年度実施した際の学校の意見

- ・教育課程に沿った水泳実習の授業時数を確保することができた。
- ・バスでの移動についても特にトラブルもなく移動できた。
- ・室内のため、天候に左右されることなく安全に実施できた。
- ・見学者も直射日光が当たらないので、安全に見学できた。

- ・学校のプールを使用する場合は、プールの維持管理が負担になるが、その必要がないため先生の負担も少なくできた。

2 学校施設工事等関係

- 下東条小学校外プール循環ろ過機ろ材更新工事
→下東条小学校、河合小学校、来住小学校のプールろ過機のろ材交換を行う。
5年に一度定期的に入替が必要。
- 市場小学校受水槽及び消火水槽更新工事 設計・監理業務委託
(5/17入札予定)
→設置後約37年が経過し、老朽化が進んでいるため更新を行う。
- 校務用パソコン購入設置(5/17入札予定)
→教職員用のパソコン約380台(H28購入)について、3年かけて計画的に更新を行う。令和5年度は、140台を購入する。

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q:小野南中学校の水泳授業のアルゴ利用について、中学校からアルゴに行くとなると移動時間が必要になるが、授業数は他で補うような形になっているのか。(教育委員)

A:移動に片道15分程かかるが、授業時間の確保も含め問題なくできていると聞いている。こうしたアルゴのプール利用も拡大できればいいと考えているが、アルゴのプールは深いため中学生であれば問題ないが、小学校の低学年が利用するとなると難しい部分がある。(事務局)

Q:他の3つの中学校は今のところ問題なくプールを使用できているのか。(教育委員)

A:学校のプールを使用して水泳授業を行っている。ただ、漏水等の修繕は随時発生している状態である。(事務局)

A:新聞でも外部に委託していく等、色々と話題になっているが、そのためには授業を組み替える必要があり、学校・教員の協力を得なければならない。また、アルゴでは水泳教室等でプールを使用しているので、プールが空いている時間を使わせてもらうことになる。その兼ね合いがあるので、全校をアルゴで受け入れるということは今後においてもおそらく難しいと考える。今後、このような学校の老朽化したプールの管理というのは課題になってくる。(事務局)

Q:できるだけ新しいプールを近くの何校かで使うという考えもできるのではないか。残していくプールと、修繕するには金額的に難しいプールということで分けて考えるのはどうか。(教育委員)

A:小野南中学校は、アルゴのプールを利用する前は河合中学校のプールを借りていたが、どうしても受け入れる側も理解がいるという問題がある。(事務局)

Q:小野南中学校のアルゴプール利用予定をみると、プールの利用は各学年とも4回になっているが、4回が授業の単位として妥当な線なのか、それともプールが利用できる時間が4時間しか確保できなかったのか。また、プールをお借りする日はアルゴの休館日なのか。(教育委員)

A:水泳授業の目安は10時間となっている。アルゴを利用する月曜日は休館日ではないが、プールの利用がないためその日をお借りしている。(事務局)

A:小野市には今のところ学校以外で利用できるプールがアルゴしかない。アルゴのキャパシティで全校を受け入れることは不可能ということや、プールが深いという問題もあり、いざ検討に入っていくと出来ないことがたくさん出てきてしまう。先生方にとっても授業を組み換えるのが負担になってしまう。このプールの課題というのは地域性もあり小野ではなかなか解決が難しい。(事務局)

A:プールの問題もアンテナを高くして、状況を見ていただきたい。様々な考え方があるので、真剣に考えて議論していく必要がある。(教育長)

- ・ 新たな幼稚園について、園名や園章、園歌など色々と決める必要があるとのことだが、新たな幼稚園のイメージに、小野市で有名なアーティストや絵、キャラクター等、何かそういったものを取り入れられたら良いのではないかと考える。(教育委員)

Q:幼稚園の園服はどうなるのか。やはり新しいものになるのか。園服への保護者の関心度は高いと思う。(教育委員)

A:これから決めていくことになる。ただ、変わるとしても中学校の制服のように移行期間を設けることになると思う。(事務局)

Q:新たな幼稚園は、現在の園庭のところに建設されるということで相違ないか。(教育委員)

A:その通り。わか松幼稚園舎を解体し新たな幼稚園を建設するため、同じ場所に建てるとなるとより期間がかかってしまうこともあり、このように位置を変えて建設する。(事務局)

■ [いきいき社会創造課関連]

①小野市文化財保存活用地域計画策定事業

(進捗状況)

- ・ 4月28日に第5回地域計画協議会を開催し、素案について検討した。数点意見があり、一部修正箇所はあったが、概ねその素案の内容で了解をいただいた。

(今後の予定)

- ・ 5月17日に開催される小野市文化財保護委員会で素案について意見聴取を行い、5月中には計画素案のパブリックコメントを取る予定。

- ・ 6月に文化庁担当者の調査が入り、10月から11月頃に文化庁への認定申請を行う予定。

②コミュニティセンター事業（地域づくり協議会、特色ある取組み等）

（進捗状況）

- ・ かわい：5月3日に第13回かわいの大運動会を開催した。数年ぶりに開催され、参加者は約1,100人となった。
- ・ 全地区：4月から5月に地域づくり協議会総会を行った。寺子屋事業の参加者を募集した。下東条地区については、応募数が少なかったため寺子屋事業は行わないこととなった。

（今後の予定）

- ・ おおべ：5月22日から6月30日に“おおべ逆さ桜”の早朝ウオーク写真展を開催予定。

③いきいき社会創造課情報

1 事業報告

〔好古館〕

○企画展「ザ・昭和の暮らし② レトログッズ大集合」

会 期：開催中～令和5年5月21日（日）まで

内 容：懐かしい生活道具や当時流行った娯楽・趣味、服装などの資料149点を展示、多方面から昭和時代を振り返る。

会 場：好古館2階展示室

入 館 者：11,554人（4月20日現在）

○企画展「端午の節句飾り」

期 間：開催中～5月21日（日）まで

内 容：館蔵の端午の節句飾りや五月人形などを一堂に展示し、日本の伝統文化の良さを見直していただく機会とする。

会 場：好古館玄関ホールほか

入 館 者：82人（4月20日現在）

〔コミセン〕

○第17回桜づつみウオーク“おおべ逆さ桜早朝ウオーク”

日 時：令和5年4月2日（日）6：30～9：00

場 所：粟田橋東側堤防

内 容：粟田橋から“おおべ逆さ桜”（高田町）の間片道1.5kmを往復するウオークイベント。“逆さ桜付近”（高田町内）を折り返し

地点とした。

参加者：374人（昨年度：291人）

2 今後の予定

〔いきいき社会創造係〕

○第15回小野市詩歌文学賞・第34回上田三四二記念「小野市短歌フォーラム」

と き：令和5年6月3日（土） 12:30～

と ころ：うるおい交流館 エクラ

第1部 小野市名誉市民称号贈呈式 馬場あき子

※名誉市民歌碑除幕式 日時：6/3（土）10:30～場所：好古館 柳風園

〔図書館〕

○こどもの読書週間

①子どもの本限定リサイクルブックフェア

図書館で役目を終えた図書や家庭で不要になった寄贈本などを利用者に無償で提供

期 間：4月23日（日）～5月6日（土）

②読書ビンゴ

ビンゴ達成した子どもに折り紙で作ったしおりかメダルをプレゼント

期 間：4月23日（日）～5月22日（月）

③入賞絵本展示

賞をとった絵本を集めて展示

期 間：4月23日（日）～5月22日（月）

④大型絵本のお話会

図書館職員による大型絵本を使ったお話会を一日限定で開催

期 間：5月7日（日）10:30～11:00

⑤朗読会

サークルたんぽぽによる大人向けの朗読会を開催

期 間：5月21日（日）13:30～14:30

〔好古館〕

○企画展「生誕百年記念 上田三四二と小野」

「小野市名誉市民受賞記念 馬場あき子の世界」

期 間：令和5年5月27日（土）～6月25日（日）

内 容：生誕100年を記念して、上田三四二と小野市のつながりを紹介。また、長年短歌フォーラムの選者を務め小野市の文化向上に寄与された馬場あき子先生の生い立ちや業績を紹介する。

会 場：小野市立好古館 2階展示室

○国庫補助事業 国宝重要文化財浄土寺浄土堂（阿弥陀堂）及び薬師堂防災
設備整備（建造物）（防災設備整備）事業

期 間：令和4年度～令和6年度

内 容：令和4年度…実施設計

令和5年度…自動火災報知機更新、温度感知器から炎感知器へ
の更新、配線・配管工事、避雷針更新工事など

令和6年度…消火栓（一人で取り扱い可能な消火栓）の新設、
防火水槽、ポンプ室の設置など

R5年度事業

事業費：4,025万円

負 担：国補助金 3,421.2万円（85%）

県補助金 201.2万円（5%）

市補助金 201.2万円（5%）

所有者負担 201.4万円（5%）

[コミセン]

○令和5年度コミセン寺子屋事業の応募状況（R5年4月18日現在）

| 区分 | 期間 | 実施曜日 | 定員 | 応募締切 | 応募数 |
|------|------------------------|-------------|------------|---------------|-------------|
| おの | 令和5年6月1日～ 令和6年2月28日 | 火・木・ 金曜日 | 各曜日 10人 | 令和5年 4月17日 | 24人 (確定) |
| かわい | 令和5年6月2日～ 令和6年2月28日 | 月・水・ 金曜日 | 各曜日 10人 | 令和5年 5月8日 | 16人 |
| きすみの | 令和5年6月7日～ 令和6年2月28日 | 水曜日 | 9人 | 令和5年 4月30日 | 6人 |
| いちば | 令和5年6月1日～ 令和6年2月28日 | 月・水・ 金曜日 | 各曜日 10人 | 令和5年 4月30日 | 2人 |
| おおべ | 令和5年6月7日～ 令和6年2月28日 | 月・水 曜日 | 各曜日 12人 | 令和5年 4月30日 | 2人 |
| 下東条 | 令和5年6月7日～ 令和6年2月21日 | 水曜日 | 10人 | 令和5年 4月27日 | 1人 |

※夏休み・冬休み・祝日は実施しない。

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：図書館の外に返却ポストがあるが、そこに大型絵本やCDを入れてはいけない

のか。CDは衝撃があつてはいけないし、大型絵本は折って入れるのはよくないと思い、いつも開館のときに返却するのだが、返却ポストに入れてはいけないというルールはあるのだろうか。ポストのところにそういった表示がなかったのが気になっている。(教育委員)

A: 基本的には、それらは窓口で返していただけるのが、図書館としてはありがたい。通常の本に関しては返却ポストに入れていただいて構わない。CDや大型絵本を入れないでほしいということを、誤解を招かないという意味で提示をしておくべきだと考える。(事務局)

Q: 寺子屋事業のことで、現状や、ボランティアの指導や関わっている方たちの課題や今後に向けての話し合いといったことはされているのか。(教育委員)

A: また調べてお答えさせていただきたい。(いきいき社会創造課長)

A: きすみの寺子屋にずっと行っているのだが、最初は月・水・金曜日に行っていたが、学年によって帰ってくる時間が違うので、全員が一緒に帰ってくる水曜日のみになった。1年生から6年生の受け入れなので、学年差があることで良い面もあるが、下校する時間に差があると、落ち着いたところにまた次の子が来るので忙しい面もあり、月・水・金曜日と実施されている所は大変だと思う。最初に宿題をしてから、遊びや工作、パステルの絵を描くなど様々なことをするので、お家の方はとても喜ばれていた。(教育委員)

A: 親が送迎する必要があるので、保護者の方が働いていると利用が難しいのではないかと考える。(教育委員)

A: 学校と連絡して、学校から直接寺子屋に来るという方法もある。ただ、帰りはお家の方に絶対に迎えに来てもらわないといけない。(教育委員)

■【スポーツ振興課関連】

①学校保健体育事業の推進

(進捗状況)

- ・現在、中学校で体力テストを行っている。
- ・「ひまわりカード」による朝食接種率調査に向け、啓発文書の配布を行う。

②第10回小野ハーフマラソン2023

(進捗状況)

- ・5月2日にホームページにて先行告知を行った。

(今後の予定)

- ・5月末の区長便で先行告知を全戸回覧する。
- ・6月末に募集要項を全戸配布する。
- ・6月の広報で特集が組まれる予定。

③スポーツ振興課情報

1 学校保健体育

○第71回兵庫リレーカーニバル

日 時：4月22日（土）・23日（日）

場 所：神戸総合運動公園ユニバー記念陸上競技場

○第75回兵庫県郡市区対抗陸上競技大会

日 時：5月3日（水・祝）

場 所：神戸総合運動公園ユニバー記念陸上競技場

○小野市中学校総合体育大会

日 時：6月16日（金）、17日（土）〔予備日：18（日）〕

※陸上競技は17日（土）、18日（日）

※新人体育大会開催予定日：9月23日（土）

陸上競技は10月1日（日）

2 社会体育

○第1回小野市スポーツクラブ21小野市推進委員会

日 時：5月12日（金） 19時30分

場 所：市役所4階 4-1会議室

内 容：令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画について 等

3 今後の予定

○小野ハミングウェイウォーキング

日 時：5月28日（日） 9時30分スタート ※雨天中止

場 所：市場小学校～山田の里公園～鶴池・亀池～山田の里公園
（約12km）

申込期間：4月20日（木）～5月11日（木）

○学校プール管理者講習会並びに体育実技（水泳及び救急法）研修会

日 時：6月5日（月）

場 所：小野市総合体育館

内 容：①学校プール管理者講習会

②心肺蘇生法研修会

③体育実技（水泳）指導者研修会

○第10回小野ハーフマラソン 2023 第1回実行委員会

日 時：5月23日（火）18時30分～

場 所：市役所2階 2-1・2-2会議室

内 容：①第10回小野ハーフマラソン 2023 実行委員会組織について
②第10回大会概要説明
③その他

4 学校における新型コロナウイルス感染症に関する対応について

コロナウイルス感染症が5月8日から2類から5類へ移行した。それに伴い、5月2日に学校での共通理解の資料を市内各校・園に配布している。5類に移行したことにより、濃厚接触者の特定は行われぬ。また、出席停止の期間が5日間に変更になった。感染対策については、マスクの着用は求めないということ。それから、換気や手洗い等の基本的な対策は引き続き行っていくが、それ以外の感染対策を講じる必要はないというように変更になっている。給食についても、黙食をやめて、現在は対面で給食を実施している。

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

・ コロナウイルスについては、また増えてきている。河合中学校で感染者が発生したため、1クラス学級閉鎖が決定した。（教育長）

Q:そのような時にはマスクの着用を強制したり、推奨したりするのか。（教育委員）

A:感染状況が悪化したときにはマスクを着用するように、学校の方から連絡をしていただくよう通知している。（事務局）

Q:マスクを着けたままの子どもが多いという印象があり、この3年で様々なことが変わってしまい、とても残念だと思っている。（教育委員）

Q:学校ではどれくらいの子どもがマスクを着用しているのか。（事務局）

A:やはりマスクを外すことに抵抗がある子どもが多いようである。体育の授業や部活動の際には、息苦しさや熱中症ということもあるので、できるだけ外すように指導を行い、子どもたちも外して活動をしているようだが、教室では着けている子どもの方が多いと聞いている。（事務局）

A:参観日に行ったら、子どもはほとんど着けていて、先生は外されている方が多かった。（教育委員）

A:学校や学年によって違ったという印象があった。同じ小学校の中でも違っていたので、そのクラスの雰囲気によるのではないかと凄く感じた。4月になり9年生の子が学校に行く時に、マスクを外している子が増えているか聞いたが、やはりあまり増えていないと言っていた。中学校の参観日に行った時も、女の子はほとんど全員着けていて、男の子の何人かは外している、という印象だっ

たので、もうコロナ関係なく、着けている方が安心するといった自分の意思で着けているのではないかと感じた。(教育委員)

A:これから体育祭やその練習もあり、日中は暑いと思うので、熱中症等も心配である。(教育委員)

5 その他

○「ChatGPT」について

- ・実際に ChatGPT を使用し、様々な課題やテーマを与え、AI による自動生成の回答を体験していただいた。
- ・学校でよく使うのではないかと心配されているのは、読書感想文等である。例えば、ChatGPT で「この本の感想文を書いてほしい」と入力すると、それらしいものが出てきてしまうので、そこで完結してしまうことが一番怖いと思っている。川島隆太先生の本の中にもあるが、考えないことが当たり前になってしまうのが非常に問題であり、本当に子どもが考えるということを簡素化してしまうようなものである。(事務局)
- ・学校で出されるような課題や論文等では、ほぼ間違いなく使う人がでてくるだろう。ChatGPT の回答が正しいか間違っているかを判断するリテラシー能力が問われるが、言語処理能力がついているので、回答として文章的には正しいものを出してくるのが厄介なところだと考える。(事務局)
- ・学校で使い方を教えたとしても、子どもたちも楽な方へと流れていくと思うので、そこをどう指導していくかということがポイントだと考える。それから川島先生の脳科学の知見を生かすとするならば、回答として出てきたことをもう 1 回自分で考えたり、振り返ったり、本で調べたりするといった作業を授業の中で必ず入れるようにして、そういうことが大事だと伝えていく必要がある。ChatGPT を使うと、自分で考える必要も判断する必要もなく、言葉を扱うという言語の力も必要ないので、「思考力と判断力と言語力といったものがどんどん劣っていく可能性」がある。そのため教育としては、これに頼り切ってしまうようなことを学校がやるのはよくないと考えている。脳には使っている能力については大事に力をつけていく機能があるが、使わなくなると必要ないと判断しその能力を切ってしまう特性があるということは、川島先生の本に書かれている。そのため、ChatGPT を使うことによって行わなくなる作業が増えてしまうと、本当に子どもの力がどんどん落ちていくことになるという危機感を覚えている。現在、子どもの端末からはアクセスできない設定にするよう業者に依頼しており、先生の端末からも一旦アクセスできないようにしてもらっている。どのようなものを事務局で確認して、業務改善等に繋がりそうであれば、先生には使えるようにしようかと考えている。ただ、先生の考える力も必要なので、それを削がれる可能性があるということをよく理解したうえで、どうしていくか検討し

ていきたい。子どもたちについては、ChatGPT に接続しない方向で行こうと考えている。(事務局)

- ・失敗してこそ得られるものもあるので、幼い頃の失敗体験は大事だと思っている。ChatGPT なら正解が出てくるからといって失敗しない前提で検索するようになると、人間性が弱い子どもになってしまうのではないかと心配している。(教育委員)
- ・ChatGPT については、様々な議論がある。ChatGPT を含む SNS、電子機器、それに関連する新しい物も次々に出てきているので、それらをどう使っていくか、規制するのか、使い方について考えていきましょう。(教育長)

6 次回定例教育委員会予定

令和5年6月15日(木) 午後1時30分 4階会議室4-1

7 閉会あいさつ 教育長